

概要

Windows Vista 以降の慣例に従い、構成ファイルの配置先を Windows フォルダーから AppData フォルダーに変更しました。

また、一括変換時にエラーになった場合、エラーを引き起こしたファイルのファイル名が表示されるようにしました。

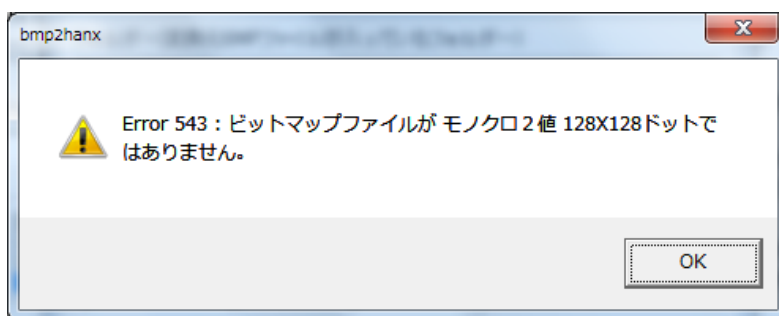
インストーラをなくしました。

詳細

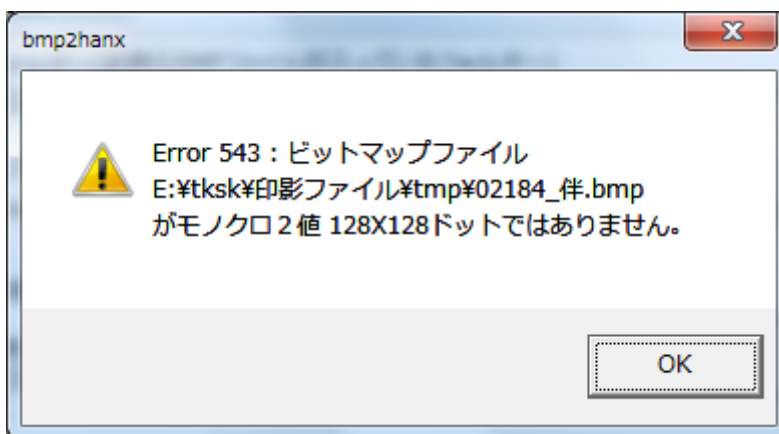
構成ファイルの配置先を Windows フォルダー下の hanko.ini から AppData フォルダー下の TororoKonbu¥bmp2hanx.ini に変更しました。

印影変換できるビットマップファイルはモノクロ2値 128X128 ドットでなくてはなりません。一括変換の際、この基準に外れるビットマップファイルが存在するとエラーになってしまいます。

以前のバージョンではエラーになった際、エラーを引き起こしたファイル名が表示されないため、問題解決に時間がかかりました。



そこで、エラーを引き起こしたファイルのパスを表示するようにしました。



動作環境

Windows8.1 / Windows8 / Windows7 / WindowsVista